

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	生活空間、環境の改善	お年寄りに馴染みのある、親しみやすい環境を作る。	①職員全員で、お年寄りが親しみやすい環境について話し合い、考える。	2か月
2				②一人ひとりのお年寄りの生活歴や認知症の方々のバックグラウンドを理解し、馴染みのある環境やケアが展開できるように勉強会を行う。	5か月
3				③常にお年寄りに馴染みがある、親しみやすい環境を作り出せるよう、スタッフ一人ひとりが気付き、申し送ることで意識付ける。	12か月
4				④お年寄りの好きなこと、得意なことを引き出せるよう、同じような活動ができる方同士で仲間作りをし、一緒に活動する。	12か月
5				⑤居間や個人の居室に季節感のある装飾をしたり、行事やご家族の写真を飾ったり、自宅で愛用されていた物等を置き、馴染みのある生活空間を作り出す。	12か月
6	55	一人ひとりの力を活かした安全な環境への改善	身体レベルが低下していくお年寄りが安全に暮らせるような環境を作る。	浴室を一般浴だけでなく、機械浴も行えるよう、リフター浴を備える。	3か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。